

箱舟

ジェファソンビル インディアナ州 アメリカ合衆国

1955年05月22日

1 おはようございます、皆さん。

今朝ここにいるのは、ちょっとした手違いがあったからなんです。

実は私は……病の方々のために祈るために来る際には、

そのことがラジオ放送で発表されるようにという約束をしておりました。

それをネビル兄弟が放送で告知することになっていたのですが、

どうやら昨日、秘書がその情報を彼に伝え損ねてしまったようです。

そのため、放送では何も告知されず、人々には知らされませんでした。

しかし今朝、「祈ってほしい」とお電話をくださった方々が

何人かおられたのです。

2 それで私は、ちょっと興奮していたんです。というのも、新しい男の子が生まれたという知らせを受けて——毎日のことながら、心から感謝しています。看護師が彼を部屋から連れて降りてきたとき、私は言いました。「ジョセフ、君を四年間待っていたよ。でも、本当にここに来てくれて嬉しいよ」と。

今から四年ほど前のことです。ちょうど女の子が生まれる少し前、まだその子が来ると分かっていない頃、私はある日祈っていました。聖書の中のヨセフの生涯を読んだあとで、「なんて完全な人なんだろう」と思ったんです。アブラハムは選り、イサクは義認、ヤコブは恵み——そしてヨセフは完全を象徴していました。そこから先は、もう何も語られていませんでした。だから私は、ヨセフのことを思ったんです。彼がどのように生まれ、父に愛されたかということ。

そうそう、ところでアフリカから電報かメッセージが届いたんです。「彼のために多色の衣を作っています」と。彼をずっと探していたようです。

私はあのとき、物置のような小さなクローゼットに入り、祈り始めました。「神よ……」私は感極まって泣いてしまいました。あのヨセフという人物が、いかに素晴らしい人であったかを思い、涙が止まりませんでした。彼は銀三十枚で売られました。それはちょうど、ユダがイエスを売った銀三十枚と重なります。そして、彼は墓から上げられて、ファラオの右の座についた——王に会うにはヨセフを通さなければならなかった。そしてラツパが鳴ると、彼が進むたびにすべての膝がかがめられたのです。

イエスにも同じことが起こったのです。「すべての舌が告白する」とあるように。そして私は、またそこに戻って、祈り始めたのです。

3 人が生きている中には、三つの要素があります。第一は「人間的な領域」。第二は「神からの啓示」。そして第三は「幻(ビジョン)」です。

たとえば祈りの中でもそうです。誰かのために祈るとき、人間的な領域ではこう言います。「うーん、あなたが癒されるように願っています。信じようとしています。持てる限りの信仰を使おうとしています。」——これは人間的なものです。

第二は「神の啓示」、つまり何かがあなたに示されることです。あなたの心の中ではっきりと「これは起こる」と分かるのです。外見的には何もなければ、その啓示だけが確信を与えます。

そして第三が「ビジョン(幻)」です。これは「主がこう仰せになられた(Thus saith the Lord)」という絶対的なものです。完全に確かなものです。

4 そして、それ(啓示)はこの領域に入ってきたのです。すると、ある「何か」が私にこう語りました。「あなたは男の子を授かるだろう。そしてその名をジョセフと名づけなさい。」

そのとき、私はすでに一人の女の子を授かっていました。それで私は、「うん……」と思いながらも主を賛美しました。そしてその約一か月後、私たちはまた子どもを授かることがわかりました。それで私は「これが

私のジョセフかもしれない」と思ったのです。ところが生まれたのは女の子で、ジョセフィンでした。

それで多くの人が「あなたはそれがジョセフだと言ったじゃないか」と言ったのです。私は「いや、違う。私はそれをジョセフだとは言っていない」と答えました。そして彼らは「でも、あなたはその幻を見たって言ったでしょ?」と言いました。ご存知のように、人々は物事を混同してしまうのです。私は言いました。「私はテープに録音しています。さあ、聞いてみてください。私はそれがジョセフだとは一言も言っていない」と。

私はこう言いました。「主が私の心に、私はジョセフという名の男の子を授かることになるとお示しになったのです。」私はこう続けました。「それがいつ、どのように、どういう形でかは分からない。でも、それは必ず起こるんです。」それで私はこう思ったのです。「たとえその前に女の子を6人授かっても、彼(ジョセフ)は必ずやって来る。」——この思いは、私の心から一度も離れませんでした。そして私たちはそのまま過ごしていったのです。

5　そして先日、ついに彼が誕生しました。ジョセフはここにいます。私は心から感謝しています。主が何かを約束されたならば、その約束を必ず果たされるということを知っているからです。

主はそうせねばならないのです。神であられる以上、ご自身の御言葉を守られなければならないのです。

私たちは、自分の言葉を時に守れません。私もそうですし、あなたもそうです。というのも、私たちは善意で約束しても、それを実行する力がないことがあるからです。状況や困難などのせいで、思うように行動できないことがあるのです。

しかし、神はご自身の御言葉を守る力を持っておられます。そして、必ずそうしてくださいます。神がそれをなさらないなどということは不可能なのです。

だからこそ、私たちは今朝も主を愛しているのです。

「神は、私たちがあの日に向けて御手にゆだねたすべてを、守ることができるお方である」——この完全な確信の上に、私たちは信頼することができるのです。

6　今日は外は悪天候ですが、タバナクルの中は暑苦しくもなく、また人がぎゅうぎゅうに詰め込まれて立っているような混雑もありません。ですから、今こそ御言葉を学ぶのにちょうど良い時だと私は思います。

この数時間、私は一生懸命に努めてきました。聖霊がどう導かれるかを見極めようとして…。後ろにいるビリーにも、祈りの列のためのカードなどを用意させましたが、それについては私が決められるものではありません。それが私を導くのであって、私がそれを導くのではないのです。

それについて私には何の力もありません。すべては主がどう仰せになるかにかかっているのです。

7　さて、こちらのネビル兄弟が、このリバイバル集会を告知されていました——このクラッツ兄弟という方の集会です。私はその方を存じ上げません。昨夜、病院からの帰り道にちよっと立ち寄っただけでした。ロバーツ兄弟の映画がそこで上映されていたのです。

その建物の後方で、クラッツ兄弟とそのお父様がいらっしゃいました。クラッツ兄弟ご本人は、見たところ20歳か21歳くらいの若者ですが、お父様と一緒におられました。そしてニューオールバニから来られたマセニー兄弟もいました。彼はペンテコステ派の方で、クラッツ兄弟も同じくペンテコステ派のようです。

皆さんとても親切で、来週の集会を私に引き受けてほしいと言われましたが、もちろんそれはできませんでした。そして「土曜の夜だけでも来られますか?」と聞かれましたが、それもまだ分かりませんと答えました。コーブル兄弟が金曜・土曜・日曜を希望しており、ホール兄弟は今週中のどこかでミルトアウンで奉仕する予定です。というのも、来週から夏の巡回に出発するからです。

ですから、細かい集会がいくつか散らばっていて、どこで何をするかまだ完全には決まっています。もう少し後でお伝えするとお約束しました。

8　妻も本当に元気で過ごしています。そして皆さんのお祈りには心から感謝しています。ただただ祈りのおかげでした。ここでは混合の聴衆なので詳しくは言えませんが、本来の出産時間をはるかに超えて、何時間も、何時間もかかったのです。普通なら心臓が耐えきれず、すぐに亡くなることもあるのですが、神の恵みによって、これまでの出産の中で一番元気に回復しています。

皆さんの祈りが支えてくれたのだと確信しています。本当に心から感謝しています。どうか今後もお祈りください。

この小さなジョセフの誕生は、私の人生において一つの転機となりました。数日前、もしかすると無事に生まれないかもしれない、すべてが私たちに不利に働いているように思えたとき——まるで夜明け前の一番暗い時のように——私はグリーンズ・ミルのスカウト用地、昔からの場所へと向かいました。

もう耐えられなくなり、ただ一人で主イエスと共に過ごすために戻ったのです。そこで主は、すべてが大丈夫になると私に確信を与えてくださいました。そこで私はこう約束しました。「主よ、これから先は——」と。これまで本当に多くの困難や試練がありました——

9 ご覧の通り、今朝ここにおられる中に、おそらく一人か二人、初めての方がいらっしゃるかもしれません。はっきりとは分かりませんが、お祈りを求める方の名前がいくつか手元にありますので、恐らく今朝は、この小さなタバナクルの仲間たちが集まっているのだと思います。

でも私は、この世の人々や周囲の人々が全く知らないようなことを通っているのです——非常に厳しいことを。敵は内側のラインで攻撃してきます。外側では気づかれません。けれど、切ってくるのは内側のラインなのです。だから、私はどこに行ってもそれに直面しています。

でも、それは当然のことだと思っています。もしそうでなかったら、もしかして私は...そうですね...悪魔の友人にでもなっているのかもしれませんが。それは嫌です。彼は私の敵ですから、私は戦いの場で立ち向かわなければなりません。

けれど、私は戦うための武器があることをとても感謝しています——それは生ける神のことばです。それは永遠に耐え続けるものです。

今、私は主が会場の手配を整えてくださって、もっと長く滞在できるようになることを願っています。どうか皆さんも祈っててください。

10 南アフリカからショーマン兄弟ご夫妻がこちらに向かっておられます(そして彼は南アフリカの牧師協会の代表者です)。この秋にこちらに来て、インドに上がっていくことなどを相談するためです。

トムズ兄弟も南アフリカから来られています。先日お会いしました。彼は現地の先住民の間で大きな働きをされています。私がトムズ兄弟の活動を好ましく思っている理由の一つは、彼が語っている計画、そしてすでに実行されている働きが、トミー・オズボーン兄弟と共にしているものであり、正しく、支援に値すると私が思っているからです。

というのも、彼らは現地人の宣教師を送り出しているからです。結局のところ、現地の人のことは現地の人が一番よく知っています。

例えば、ここにオーストラリアから誰かを送ったとしても、私たちはその人を兄弟として愛し、受け入れるでしょうが、彼はアメリカの習慣ややり方を知らないでしょう。この働きを正しくやるには、アメリカ人が必要なのです。

また、もし中国から誰かがここに送られてきたらどうでしょうか？ 彼は宣教師かもしれませんが、たぶん英語を少し話せるとしても、それはバラバラに通じづらいでしょう。アメリカ人に入り込み、アメリカ人と共に働き、アメリカの習慣に沿って行動できる人でなければ、効果は出ません。

それが現実なのです。そして、私たちはこの国の中でも、北と南、東と西で文化も発音(なまり)も違うという、ちょっと特殊な国民なのです。

11 少し前のことですが、私はフロリダ州にいました。ある晩、とても愛にあふれた兄弟がおられて、その方はジャクソン兄弟(ゲイル・ジャクソン兄弟)という名前で、癒しの働きに導かれた、私の回心者の一人です。

私は会場のずっと後ろの方について...普段から、私の奉仕や集会に関する献金についてはあまり人に知らせないようにしています。主が備えてくだされば感謝ですし、もし備えがなければ、どこか別のところで補います。ですから...

そのときゲイルがマネージャーのところに来て、「経済面はどうですか?」と尋ねました。

するとマネージャーは「そうですね、あと千ドルか、もしくは1500ドルほどあれば追いつけるくらいです」と答えました。

ゲイルは「問題はね、君たちが南部の人々の扱い方を知らないってことだ」と言ったんです。それで彼はこう言いました。「今夜の献金、私が担当してもいいですか？」

マネージャーは「ええ、でも乞うようなことはしないでくださいよ。ブラナム兄弟に怒られますから。私たちは決して物乞いはしません」と答えました。

するとゲイルは壇上に立ち、ほんの少し話をしただけで、なんと2,000ドルの献金が集まったのです。

彼は言いました、「見てごらんよ、バクスター兄弟、君は南部の人たちの扱い方を知らないだけなんだよ」と。

ですから、それが現実なのです。南部の人には南部のやり方があります。北部の人には北部のやり方があるのです。そして私は思います、その土地の風習や部族を理解している現地人こそ、自分たちの民族のために最もふさわしい働き手であり、私たちが持っているような「作られた」宣教師たちよりも、はるかに良いのです。まさにその通りです。

ですから、私はこのような兄弟たちのことを、心から感謝しています。

12 さて、今朝は、ほんの少しだけ皆さんにお話したいと思っています。なぜなら、おそらくこれがしばらくの間、皆さんとお会いできる最後の集会になるからです。

これから私たちはジョージア州メイコンへ向かいます。そこでは、南部バプテスト教会42会衆の後援による集会が予定されています。

それから、クリスチャン・ビジネスマン・フルゴスペル・インターナショナル(デンバー)での集会に参加し、その後は少しの間、カナダへ行く予定です。

それから先は、ショーマン兄弟と相談して、海外に行くか、アメリカ国内での集会を続けるかを決める予定です。もちろん、ムーア兄弟が全体の計画と旅程を立ててくれています。彼はショーマン兄弟と会う場所にも同行する予定です。

ショーマン兄弟がこの辺りに来てくださるなら(皆さんもすぐに分かると思います)、一度タバナクルでメッセージを語ってくださることを願っています。

彼は本当に素晴らしい人物で、ご夫人も同じく素晴らしい方です。私がアフリカにいた時、彼らは私を兄弟のように扱ってくださいました。ですから、もし彼らがこちらを訪れることがあれば、どうか主の愛をもって、同じように温かく迎えてあげてください。

13 さて、私がここに来てから知ったのですが……ネビル兄弟がラジオ放送の件を把握していなかったそうですね。私はその放送を聴いていました。どれくらいの方がラジオ放送を聴かれていますか？

申し上げますが、あの賛美は実に崇高でしたし、説教はさらにそれを上回っていました。昨日のメッセージは本当に素晴らしかったですね。皆さんもそう思われましたか？

ネビル兄弟を照れさせたいわけではなく、これは真実です。

もし私がネビル兄弟が何か間違ったことをしていると思ったら、部屋に連れて行って、すべてを話し合い、祈るでしょう。でも、もし彼が正しいことをしているのなら、それをちゃんと伝えたいのです。それが私たちがより良くするのであります。

それから、あの小さな男の子のために贈ってくださった、素敵なカードやプレゼント——本当に感謝しています。

妻も皆さんに愛と感謝の気持ちを込めてご挨拶を送っています。

さて、これからこの祝福された御言葉を開きましょう。ですがその前に、この御言葉の著者である主にまず語りかけましょう。

14 愛する救い主よ

私たちは今、ほんのしばらくの間、あなたの御名を用いて、全能なるお方、創造主、あなたを処女の胎に宿されたお方のもとに近づきます。

そして彼女は、生ける者と死せる者の間に立つ仲保者、唯一の道、唯一の仲保者であるこの驚くべき方をお産みになりました。

私たちは、この主イエスの神聖な約束によって与えられた御言葉——「あなたがたがわたしの名によって父に願うことは何でも、それをわたしが行おう」——を信じて、大いに喜んでいます。

ですから、私たちは今日、主イエスの御名によって願います。

愛する父よ、どうか私たちの心からの感謝をお受け取りください。

あなたはいつも、御子たちの賛美を聞くために御聖所に集われるお方です。

今日この日、私たちはあらゆる祝福、健康、教会の働きと進展、世界中の働きに心から感謝いたします。

そして父よ、この働きが今後も続けられるだけでなく、いたるところでその働きの上に倍の恵みを注いでくださるようお祈りいたします。

というのも、私たちは時が尽きようとしているのを感じているからです。

すべての事が、終わりの時を指し示しています。

いつその時が来るのかは分かりませんが、私たちは備えをするよう主イエスによって定められた通り、準備したいと願っております。

15 そして今、父なる神よ、感謝を捧げます。

私は、今日与えられたこの小さな男の子のために、個人的に心から感謝いたします。

あなたの約束は四年間待たされました。

「しかし、わたし【主】がこれを植えたのだ。昼も夜も、わたしが水をやる。」

父よ、あなたは常に約束を現実のものとしてくださいます。

たとえ幻が遅れることがあっても、それでも必ず語ります。

それは語らなければならないのです。

なぜなら、それは神の御言葉であり、神の約束だからです。

私たちは恐れず、ただ前へ進んでいきます。

すべてのことが共に働いて益となると知っているからです。

母を無事に導いてくださったことを感謝します。

今、痛みと苦しみの中にある彼女を、どうか和らげてください。

それが自然な過程であると分かっているかもしれませんが、どうか慰めを与えてください、父よ。

今日、彼女を祝福し、早く回復して家に戻り、主のしもべである私のそばに立ってくださいますように。

私たちはこれから共に進み出て、あの戦いの野において、刈り入れをし、収穫を主の納屋へと運ぶために働くのです。

どうかこの教会を祝福してください。

愛する牧師ネビル兄弟、あなたの忠実なしもべを祝福してください。

彼はいつも持ち場に忠実に立っておられます。

すべての執事、役員、またその他すべての奉仕者の上にも、あなたの祝福が豊かにありますように。

16 今朝、私たちは祈ります。どうか、この場を訪れている聖職者の方々や、私たちの門におられる旅人たちを祝福してください。

そして礼拝が終わったとき、エマオの途上から戻ってきた者たちのように言うことができますように——「私たちの心は、御臨在によって燃えていたではないか」と。

御言葉にお入りください、父よ。

聖霊が来て、御言葉を取り扱ってくださいますように。

何ひとつ前もって考えておらず、何を語ればよいかも知りません。ただ、すべてをあなたに委ねます。

あなたの御心がなりますように。

主イエスの御名によって。アーメン。

17 それでは、ほんの少しの間、御言葉から聖書を読みましょう。

創世記の第六章を開いてください。短い引用を読むためです。

第六章の第八節から始めます。

そして今朝のテーマですが、もし主がよしとされるなら、病の方々のために祈る前に、御言葉から数分間だけ教えたいと思います。

その後、牧師が礼拝を締めくくられます。

18 私たちは、神が祝福を増し加えてくださるよう祈っています。

そして、前の席に小さな女の子が座っているのが見えます。

お母さんもここに座っておられるようですね。

以前、この子のために祈ったことがあると思います。

私の記憶が正しければ、そのときこの子は歩けなかったか、何かの障がいがあったように思います。

でも今日見るかぎり、ずっと良くなっているようですね。

それが本当に嬉しくて感謝しています。

私たちは絶えず祈っています——

神がご自身の教会と御民の上に、もっと豊かに御霊と御力を注いでくださるようにと。

そうして私たちの信仰が、人生のあらゆる欠けを遥かに超えて高められ、

私たちが、私たちが愛し、命を捧げてくださったお方によって、

単なる勝利者以上の、圧倒的な勝利者となることができますように。

19 それでは、聖書をお持ちの方はご覧ください。

しかしノアは、主の目に恵みを得た。

これはノアの歴史である。ノアは正しい人で、その時代にあって全き人であった。ノアは神と共に歩んだ。

ノアはセム、ハム、ヤペテの三人の息子を生んだ。

地は神の前に墮落し、地は暴虐で満ちていた。

神が地をご覧になると、なんと、それは墮落していた。すべての肉なる者が、自らの道を地の上で乱していたからである。

それで神はノアに仰せられた、「すべての肉なる者の終わりが、わたしの前に来た。地は彼らによって暴虐で満ちているからだ。見よ、わたしは彼らを地と共に滅ぼす。

あなたはゴフェルの木で箱舟を造りなさい。箱舟に部屋を作り、その内側と外側にコールタール(ピッチ)を塗りなさい」。

どうか主がこのみことばの朗読に祝福を加えてくださいますように。

今朝は(神の御心ならば)、少しの時間、「箱舟」について教えたいと思います。

箱舟とは何であったのか、箱舟が何を象徴していたのか、箱舟の型についてです。

というのも、旧約聖書に出てくる箱舟は、完全にキリストの型を表しており、旧約聖書のすべてはキリストにおいて成就されたからです。

キリスト・イエスにおいて、旧約のすべての約束と影は、成就したのです。

20 今はちょうど滅びの直前の時代でした。地は暴虐で満ちていたのです。

よく見ると分かるのは、人々が増え、集まる場所——つまり都市が人口で満ち始めると、

そこから「娯楽のための墮落的な装置」が持ち込まれ、

それがやがてギャンブルになり、酒になり、売春になり、家庭崩壊、離婚、そして殺人へと繋がっていきま

す。これはまるで終わりのない連鎖のように、止まることなく増していくのです。

神が人と一対一で歩んでいたとき——人がまだ孤独な存在であったときには、

人は神の前に恵みを得ていました。

しかし人が増え、群れ、都市をつくり、他の人間とともに行動するようになると、

サタンが働く余地が広がっていきます。

この人は少しだけあちらの思想に傾き、

あの人は少しこちらの影響を受け、

そこにサタンが入り込み、火をつけて扇動すると、

すぐにそれが「これ」になり「それ」になり、人の想像力が巨大になり、ついには墮落が始まるのです。

そして、ノアが現れたのは、まさにそのような時代でした。

21 もし注意深く見ていくと、アベルが殺されたあと、神は彼に代わってセツを与えられました。

歴史家によれば、アダムとエバには70人の子どもたち(息子・娘)がいたとされていますが、

聖書が記録しているのは、カイン、アベル、セツの3人の息子のみです。

(※先ほど言い間違えましたが、ノアの息子たちはセム、ハム、ヤペテです。

ちよつと興奮気味で、私のジョセフが生まれてからずっとこんな調子なので、言葉が混ざってしまいま

す。) さて、このセツの系統をたどっていくと、ノアの時代までつながっていきませんが、

その中でも、ハムの子孫の中には洪水以前の邪悪な人々の流れが見られます。

一方、カインの系統も同じように、やがて悪に染まり、

彼自身はノデの地へ行き、妻をめぐって住みました。

そこから生まれた子孫の中には、やがて巨人のような者たちが現れるのです。

イスラエルの子らはその地を歩いていったとき、彼らは14インチ(約35cm)の指を持つ者たちさえ見つけました。

想像してみてください。ダビデが倒したゴリアテは、その中でも特に有名で、

彼の槍は織機の横木のような太さだったと言われています。

身長は9フィート(約2.7m)以上、なんと力強い人物だったことでしょう。

22 しかし、注目すべきは——カインの系統から偉大な文明が発展したことです。

人が増え始めると、教育や発見、発明に走るようになりました。

ある者は木工の達人となり、建築が盛んになっていったのです。

どんどん建てて、また建てて——それ自体が終わりの時が近いことのしるしだったのです。

今の時代を見てください。これほど建設ラッシュの時代がかつてあったでしょうか？

これは再び終末のサインなのです。

彼らは金属加工の達人でもありました。

金属がどれほど多用途に使えるかを発見し、

今日では私たちもそれと同じように、金属の家まで作るようになっています。

ラジオで聞きましたが、木材が不足しているので、

アルミや鉄鋼製の住宅が造られているとのことでした。

そして、科学の進歩。

ここ数十年で科学が成し遂げたことを見てください。

驚くべきスピードでの発展——これもまた終末の兆候です。

だからこそ、説教者たちは全力を尽くして講壇から叫ぶべきなのです。

「私たちは今、時代の大きな節目を越えつつある!」と。

すべてが終わりを指しています。

聖書がまずそれを告げています。

科学界も「終わりは近い」と認めています。

天文学(占星術)も、星座も、カレンダーもそれを告げています。

さらにはピラミッドの予言構造さえも「終わりが見えてきた」と示しています。

すべてが同じ一点を指し示している——

「今こそ、終わりの時代である」という事実なのです。

23 注目してください。神はその主権の中で、終わりの時代の前に——ご自身の恵みによって、警告を与え

てくださったのです。

主イエスがそのことに触れておられます。

イエスは言われました：

「**ノアの時代にあったように、終わりの時代も同じようになる**」と。

ノアの時代——洪水の前、人々は何をしていたか？

それと全く同じことが繰り返されると主は言われたのです。

そして、私たちはまさにそれを目の当たりにしています。

だから、霊的に盲目でなければ、それが分かるはずです。

霊の目を開いて、周りを見渡してごらん下さい。

ここで強調したいのは、肉体的な盲目と霊的な盲目は全く異なるということです。

もし選ばなければならないとしたら——私は迷わず、肉体的な盲目を選ぶでしょう。

それほどまでに、霊的な盲目というものには深刻で、危険なものなのです。

霊的な盲目——それは、神の語りかけが聞こえず、しるしが見えず、悔い改めにも至れない状態を意味します。

だからこそ、目を開いて、いまという時代をしっかりと見極めなければならないのです。

24 このくだりでブラナム兄弟は、霊的な盲目の深刻さを改めて語っています。

ある牧師が彼に言いました：

「あなたが主の僕なら、私を盲目にしてみなさい。」

ブラナム兄弟は答えました：

「あなたはもうすでに盲目だ。」

その牧師は、神の癒しや聖霊のバプテスマを否定し、嘲笑していたのです。

それに対し、「それが霊的な盲目だ」と彼は告げます。

肉の目では見えていても、霊の目が閉じられていれば、真理も時代のしるしも見えない。

イエス様も言われました：

「盲目なパリサイ人たちよ、目があっても見えないのか。もし見えていたら、わたしの時を悟っていただろう。」

また、旧約の預言者エリシャの例を出します。

ドタンにいたエリシャのもとに、シリアの軍隊が押し寄せました。

弟子のゲハジは恐れますが、エリシャは落ち着いて言います：

「わたしたちと共にいる者は、彼らと共にいる者よりも多い。」

そして祈ります：

「主よ、彼の目を開いてください。」

そのときゲハジの霊の目が開き、山々には火の車と火の軍勢(御使いたち)が見えたのです。

逆に、エリシャが敵の軍隊には盲目を与えます——しかしこれは霊的な盲目。

彼らはエリシャ本人に「エリシャを探している」と言い、

本人に案内されながらも気づけないほど、霊が閉じられていたのです。

25 そして今日、男性は神の憐れみを拒絶しているため、盲目になっています。それは判断を残すだけです。しかし、神は彼の愛と憐れみの中で、神の裁きが下される前に方法があるように、方法を割り当てました。神はその道を歩むことを望むすべての人々のために逃げ道を作ってくださいます。それが彼の憐れみです。逃げ道を作ることです。「誰もが滅びることを望んでいませんが、すべてが悔い改めに来るかもしれません。」

彼は今日この世にいて、しるしと不思議を示し、人々を育て、素晴らしいことが起こり、天と地のしるしを示しています。兆候。ペンタゴンとすべてがそれについて何を考えるべきかわからない、空中を飛んでいる受け皿の兆候：上の天国の兆候。そして地上では、病人の癒し、死者の復活、盲目の目が開かれ、悪霊が追い出され、福音が宣べ伝えられています。彼が来る前に印をつけなさい。「誰もが滅びることを望んでいませんが、すべてが謙虚に、優しく悔い改めに屈するかもしれません。」しかし、視力を拒絶する人々は、盲目的に歩かなければなりません。

もし私が今日、視力を持つことを拒否し、それが消されるとしたらどうでしょうか？目を離さないのなら、何かを取り出して刺します。それなら、見たくない。

それが霊的なやり方です。人が神の言葉を調べて計画を見ることを拒否し、神を見ることを拒否した場合、彼は自動的に目を消します。彼自身が神の事柄に目を閉じています。なんて一日だ。何時でしょう。今日、終わりの時に周りを見回して学ぶべき教訓は何でしょう。

26 しかし、神は主権の恵みの中で、ノアの時代に、「今、私はあなたに出て行って、この裁きから逃れることを望むすべての人々のために備えをしてほしい」と言われました。それは素晴らしいことではありませんか？神は、誰も滅びることを望まず、神の脱出の道に來たいと思った人々のために脱出の道を作ってくださいました。それで、彼は「ノア、箱舟を作してほしい」と言いました。

さて、箱舟という言葉は小さな胸、または逃げ場、隠れ場所です。旧約聖書にはそのうちの3つが語られています。そして、少しの間、これら3つを見ていきたいと思います。それらの3人全員が今日教会に1つの大きな箱舟、キリストをタイプしていました。3つは確認です。すべての古いものはただ予兆しているだけです。

27 私は先日、小川の土手で勉強しているときに、そこで家長を産んだヘブライ人の母親がどのようにして家長を産んだのかを読んでいました。どこにいるのか、そして彼が最後の日にどこにいるのか。彼女が何をしていたのかわからず、つぶやいた。それを創世記49に持っていき、それをタイプして、彼らの終わりの時間、彼らがどこにいるのか、そしてそれが何であるかを見てください。そこにあります。私！

もし私たちがいつか目を開け、霊的な聞き取りをすることができたなら、みことばが出てきて、それが何であるかを悟り、御霊が私たちに明らかにするだろうか。そして今、聖霊が神のこれらのものを取り、ここにいるすべての男性と女性、男の子と女の子の心にそれらを正しく入れてくださるよう祈ります。

28 箱舟。ノアが建てたものの1つがありました：脱出の方法。二番目に話されたのは、モーセが入れられたものでした。三番目はイスラエルへの証の箱舟でした。そして第四は、すべてが第四で成就し、キリスト・イエスでした。

さて、創世記の最初に戻って、箱舟の準備がどのように行われたかを見て、それがキリストを正確にタイプしていないかどうかを見てみましょう。そして、各箱舟に集まった、または箱舟によって和解に來たすべての人々は、裁きによってすべてが守られました。そして、それらがそのタイプで保存されたのと同じように、すべての箱舟の本当の前兆であるキリストに私たちがどれだけ保存されるかは確かです。ああ、彼は素晴らしいです。

29 それから私たちは、神がノアにこう言われたことに気づきます。

「特定の種類の木材で箱舟を造りなさい」と。

ただの木ではなく、「ゴフェルの木(gopher wood)」でなければならないのです。

私は数週間前、この「ゴフェルの木」とは何かを調べていました。

それは柔らかく、しなやかな木だということがわかりました。

つまり、箱舟を形作っていたのは、扱いやすく、柔軟性のある木材だったのです。

これは、**信者の型(タイプ)**でもあります。

神の手に渡された信者は、

自分の義という「木」から切り倒され、

建築者の手の中で、しなやかに形を変える者とされるのです。

ただし、

「風のように吹きまわされるような教えには揺れ動かされず」

「神のこぼの中にも正しく組み込まれる」

「主の御手で使いやすいものとされる」

そんな「ゴフェルの木のような信者」になることが求められているのです。

30 そして私たちは、ゴフェルの木が水を吸いやすい木材だったことにも注目します。

つまり、水分を吸収しやすい木だったのです。

霊的な教訓として：

神の御手の中でしなやかな人間(信者)は、

神にとっても素晴らしい器になれますが、

悪魔にとっても素晴らしい器となり得るのです。

ノアの箱舟がゴフェルの木で作られていたなら、

もしそれが水を吸ったままで防水されていなければ、

すぐに水を吸い込んでしまい、水浸しになって沈んでしまったでしょう。

これは現代の教会や信者の姿と重なります：

多くの真面目な信者たちが、完全に神に自分を委ねていない。

そのため、間違った方向へと進んでしまい、

霊的な箱舟が「水浸し」になり、沈みかけている。

31 ですから、聖霊がどのようにして方法を備えられたかに注目してください。

箱舟はそのままではとても持ちこたえられなかったので、神はノアに言われました、

「内側にも外側にもピッチ(樹脂)を塗りなさい」と。

それで私は「ピッチ」が何でできていたのかを調べ始めました。

古い辞書を調べていくと、「ピッチ」とはある物質を意味していました。

しかし、ピッチをどのようにして得ていたかという、

別の木からその樹脂を打ち出し、煮て、そしてそれを注いで使ったということが分かったのです。

それによって、ピッチとなるのです。

なんと美しい型でしょう。

切り倒される前の木——特定の種類の木は「人間」を象徴しています。

キリストもまた、そのへりくだりの中で人間とられました。

そして、教会——つまり今日の箱舟とは、まさにキリストご自身の霊的な御身体にほかなりません。

キリストは切り倒され、その命を打ち出され、搾り出されて、教会に注がれたのです。

32 さて、この柔らかいゴフェルの木に、熱いピッチ(樹脂)を注ぎかけると、それはすぐに内側と外側に染み込み、盾のようになったのです。アーメン。わかりますか?盾です。

柔らかく、神の御言葉を吸い込む木。そこにキリストが聖霊を、熱されたまま注ぎ込まれるのです。アーメン。

冷えたままでは流れません。熱くならなければならないのです。

今日私たちに必要なのは、昔ながらの聖霊に満たされた熱い集会です。ただそれだけです。

彼らはこの柔らかいゴフェルの木に、大きなひしゃくでピッチを注ぎました。

ゴフェルの木はとても柔らかく、吸い込みやすい状態。内側からも外側からもピッチが染み込み、それはまるで鋼鉄のように固められたのです。

もはや水が染み込むすき間は一切ありません。完全な守りとなったのです。

そして、キリストを受け入れ、聖霊に満たされたすべての人は、ただキリストだけを見つめる一心となるのです。

もはやこの世のことには関心を持ちません。

ぶつけられても、跳ね飛ばされても、拒まれても、彼は覆われ、守られているのです。

言い換えれば、それは封印された者。あらゆる隙間が封じられるのです。

それがピッチの役割でした。そして聖書は言います：

「神の聖霊を悲しませてはなりません。あなたがたは贖いの日のために、聖霊によって封印されたのです。」(エペソ人への手紙 4:30)

アーメン。すべてが封印されたのです。木の一つひとつの部分、すべての出口、小さな穴、裂け目、木のあらゆる隙間が、神の御霊で覆われ、封印されたのです。

ああ、なんと素晴らしいことでしょう!

33 わかりますか?もし冷たいままのピッチを注いだら、空気の穴が残ってしまいます。もし舟が丸太などにぶつかれば、そこから壊れてしまう可能性があります。なぜなら、そこに欠け(ひび)があるからです。

でも、熱された状態で注げば、ピッチは木の内部まで完全に染み渡り、内側と外側の両方から封印されるのです。アーメン。

これはまさに、キリストとその教会の完全な型(かた)なのです。

一本の木が切り倒され、打たれ、傷つけられ、その命のしずく(樹脂)を搾り出される必要がありました。

そして、その命がもう一つの木(私たち、教会)に注ぎかけられることで、その木が裁きの中を生き延びることができたのです。

キリストは切り倒され、その御命と、聖霊によって、教会が神の裁きの中を運ばれ、守られるのです。

見えますか?なんと美しい絵でしょうか。ああ、本当にこれは心を震わせませぬ!

まさに心が躍るような光景です。

すべてがキリストを語っています。旧約のすべてはキリストを予表(タイプ)として示していたのです。

34 ある方が、先日こう言いました。「ブラナム兄弟、なぜこんなことが起こるのでしょうか?あんなことが起こるのはなぜでしょうか?」

実はその方、今ここにおられます。私はその時、彼女の食卓で食事をしていました。

私はこう言いました。「姉妹よ、これらすべての出来事の奥にあるものに立ち返ってごらんください。そして最初に戻るのです。」

「その人が誰であれ、他のどんなものより前に、その人は霊(スピリット)だったのです。まだ細胞ひとつなかった時から、存在は霊だったのです。

これが基本であり、根本です。この霊が正しく保たれていれば、すべてはそこから整います。

この霊から外側にあるもの——家でも、土地でも、健康でも——それらはすべて滅びゆくものです。

結局は、その霊に立ち返るのです。」

ハレルヤ!

霊に帰る——だからこそ、その霊が神と正しくあるようにしなさい。

この世で何を持っていようと、何を持っていなかろうと関係ありません。

あなたの心が神と調和していること、これが最も大切なのです。

なぜなら——あなたの家も、土地も、お金も、病気も、健康も、子どもたちも、すべてのものはやがてあなたを離れていきます。

そして、あなたはまっすぐに最初に戻るのです。

もしあなたの霊が神と正しくあるなら、確実に、天にまします神の存在と同じくらい確実に、あなたは再びよみがえるのです。

しかし、もしそれが神と正しくないのなら——あなたは別の道をたどらねばならないのです。

私たちはここに、選択をするために生かされているのです。

その選択を、今日、キリストのために行ってください。

35 ご覧なさい——ああ、なんとということでしょう!

もうひとつ、「ピッチ(pitch=樹脂、タール、またはレジンで覆うこと)」という言葉の意味についてお伝えします。

創世記で「ピッチを塗れ(pitch it)」と命じられたこの言葉、実は「贖う(atonement)」という意味を含んでいるのです。

レビ記においても、この「ピッチ」と同じ語が使われており、それは「贖罪(atonement)」、つまり罪を贖うために立つという意味を持っています。

では、ピッチとは何だったのでしょうか?

それは、ノアの箱舟を形づくるゴフェルの木と水(裁き)との間に立つもの、すなわち信じる者を神の怒りから守るものだったのです。

ノアは、裁きの水の中に入ることはありませんでした。

なぜなら、彼と裁きとの間に贖い(ピッチ)があったからです。

これこそ、いま見えてくる真理です。

今日の信者も同じです。

私たちは、自分の義(良い行い)によってではなく、ただ一つのこと——キリストに従って「箱舟に入る」ことによって守られるのです。

ノアがしたのはただ一つ、箱舟に入ることだけでした。

そして扉を閉じたのは神ご自身です。

信者に求められるのは、信仰によって歩むことです。

神が残りすべてをしてくださるのです。

主イエスがこう言われました：

「わたしの言葉を聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠の命を持ち、裁きに遭うことがなく、死から命へと移っている」(ヨハネ5:24)

それが、箱舟の中にいる者の状態です。

たとえ箱舟が嵐に揺られても、

傾いても、上下逆さになっても、

ノアは安全だったのです。

なぜなら、ピッチ(贖い)が彼と裁きの間にあったから。

今日、私たちと神の裁きの間に立ってくださっているのは——

神の御子イエス・キリストの血です。

それがあからこそ、私たちは

「裁かれることがなく、死から命へと移っている。」

なぜか？

それは、私たちがキリストという箱舟の中にいるからです。

36 木々は伐られます。

それが、この世での始まり——まず切り倒されることです。

これは、すべての人間にも当てはまります。

「人は皆、罪のうちに生まれ、不義の中で形づくられ、生まれながらに偽りを語る者です。」滅びに向かい、醜く、神を愛さず、神から離れ、希望もなく、

キリストもなく、死に向かい、罪人の墓へと進み、裁きを受ける備えができているような状態です。

しかし、そこにみことばがやって来ます。

それは、「両刃の剣よりも鋭い(ヘブル4:12)」と記されているように、

鋭く人の心を断ち切り、

その木(人間)を切り倒すのです。

そして、不要な枝やとげ、いばらを切り落とし、整えられます。

最も良い部分だけが選ばれ、

そして——御手の中で従順に、柔らかくされます。

アーメン。

それは、建築者であるキリストの御手の中にある木材となるのです。

37 そして、カルバリーで主イエスのいのちが注ぎ出されました。

それは、血が流されることによって、贖いがなされ、

「安全の箱舟(=キリストのうち)」にいる者を守るためです。

ああ、なんという光景でしょう!

それでは、その箱舟に塗る「ピッチ(樹脂)」を得るにはどうしたらよいか…。

なぜなら、そのままではすぐに水が染みて沈んでしまいます。

よく聞いてください。

人がただ「私はみことばを信じている。これとこれだけ受け取るよ」と言うだけでは——

もし血がなければ、あなたは依然としてこの世に属しているのです。

どれだけ「箱舟の中」にいるように見えても、

どれほど正しく整えられた「板(=信仰の一部)」のようでも、

聖霊によりピッチされ、しっかりと染み込んでいなければ、

この世の水(=裁き)はあなたの中に入り込みます。

聖霊に満たされて初めて、世を拒み、守られた者となるのです。

38 そして、ぜひ注目していただきたいのです——なんと美しいことでしょう。

箱舟を守るためには、もう一本の木が切り倒されなければなりませんでした。

つまり、同じく人の性質を持つ“近親の木”が切り倒され、

その木が打たれて、すべての樹脂が流れ出されたのです。

その流れ出た樹脂が、最初に切り倒された木に注がれ、

それを保護するために用いられました。

アーメン!そして今日——どれくらい長くその木は保たれたのでしょうか?

あれは今から六千年前のことです。それなのに、今でもその古い箱舟は、山の上にその姿を残しているのです。

ほかの木材では一度も耐えられなかった場所に、

その木だけが、今も立ち続けている。

なぜでしょうか?「別の木の死」が与えたピッチ(樹脂)によって内も外も覆われたからです。

箱舟はいまも立っています。

それは、ピッチがどれほど力強く保つかの記念碑でもあるのです。

なんという完全なイメージでしょう!

キリストにある信仰者の立場とは、まさにこのようなものです。
一度キリストのうちにあるならば、
外側にはキリストの死による覆い、
内側には御霊の働きがしっかりと染み込んでいる。
私たちに必要なのは、すでに備えられた箱舟に入ることだけです。
ただ、信じて入ればよいのです。
見てください——ノアがしたことは、
ただ「箱舟に入った」それだけでした。
扉を閉めたのは神でした。
そして扉を開いたのも神でした。
ノアは神の裁きが過ぎ去るそのときまで、安全に守られていたのです。
今日の信者もまた同じです——
キリストのうちにある者は、安全に守られているのです。

- 39 注目してください。急いで次に進みますが、
次に語られる「箱舟」は、モーセのときの箱舟です。
(少しだけ、その箇所に触れましょう。)
聖書は、あの小さな籠を「箱舟」と呼んでいます。
そして、見てください——
その箱舟は、モーセを産んだ母によって備えられたのです。
アーメン！
神学教育や神学校を通してではなく、
「新生(新しく生まれること)」を与えてくださる方ご自身が、
信仰者のために箱舟を備え、
その人を裁きの中を通して守られるのです。

40 それで彼女(モーセの母)は、あのときにあった細い茎——ちょうど小さなトウモロコシの茎や亜麻の茎のようなもの——を使って、小さな籠を編みました。今でもエジプトではそれを見ることができます。お母さんたちは小さな赤ちゃんをナイル川の向こうへ渡らせるのに、同じような小さな籠に入れて、水の上を押し進めていくのです。

モーセの母も、そうやって小さな箱舟を編みました。

その作り方は、茎を織り込むように、前後に交差させていくものです。織り手たちは今でも同じように作ります。

そして、彼女はその籠に「スライム(slime)」を塗りました。

この「スライム」は、またしても「ピッチ(pitch)」＝「樹脂・防水材」なのです。

その語を詳しく調べると、ピッチ＝贖い(atonement)という意味があることがわかります。

織り込まれた茎と茎の間には小さな隙間ができ、それがその贖いの材料であるピッチを保持するのにちょうどよいのです。

ああ、なんと驚くべきことでしょう!

今日の信仰者たちがバラバラであるのは、なんと悲しいことでしょうか——

メソジスト、バプテスト、ルーテル派、「ワンネス(単一神論)」派、「スリーネス(三位一体)」派……

本来なら、私たちは皆、しっかりと織り込まれるように一つとなり、

その上からピッチ——すなわち聖霊による油注ぎが注がれ、

互いをしっかりと結びつけ、固く結ばれ、

裁きの水から守られる「安全な器」となるべきなのです。

なんと素晴らしいことでしょう!

ピッチを注ぎ固める——それが、主の御手による備えなのです。

41 それから、あの小さな赤ちゃんモーセは、その籠にそっと寝かされ、裁きの象徴である水の中へと送り出されました。

水とは、いつの時代でも「民の群れ」「群衆」を象徴します。

おそらく、顔には小さな覆いがかけられていたことでしょう。

ナイル川の上、小さな箱舟の中、赤ん坊モーセは浮かんでいました。

ナイルは流れが速く、

その葦やパピルスの間を流れながら、ワニや様々な危険に囲まれていました。

雨や嵐、突風や吹雪のようなものが吹きつける中で——

それでも小さな箱舟は、しっかりと浮かび、流されることなく守られていたのです。

なぜでしょうか?

その中には祭司がいたからです。アーメン。

モーセは将来、祭司となる者でした。律法を与える者、王として立てられる者でした。

ノアもそうでした。ノアもまた、父親でした。

そして、自ら箱舟を作ったその父は、自分の大切な家族やすべての持ち物と共に、その箱舟の中にいたのです。

私たちの父であるキリストも、

ご自身の血によって箱舟を造られ、

その箱舟の中に私たち信じる者と共に住まい、交わりを持ってくださるのです。

ああ、なんと素晴らしい真理でしょうか!

42 すべての子供たちとすべての動物がノアの説教に耳を傾け、裁きが下されている間、箱舟は波に乗って戻ってきました。ノアは言いました。神はこの箱舟を造られました。それは彼の指示に従って建てられました。それは悪魔がそれに敵対して送ることができるすべてのものに耐えるでしょう。」箱舟の中のノア、説教、裁きから安全。

43 そこにいる小さなモーセは、夜に星空を見上げ、風が吹いて場所を吠えているとき、古いナイル川がジャンプし、ワニがバスケットの下を歩き回っています。ハレルヤ! 安全で、保護され、その間に立っていたの

は、彼とすべての強風と悪魔が送ることができる強風との間の贖罪でした。その小さな箱舟を混乱させるものは何ともありません。彼女はすぐに浮かんでいました。

その上に偉大な聖霊が立っているのが見えます。剣を抜いて神の天使たちが近くに座っているのが見えます。いいえ、先生、何もそれに触れるつもりはありません。

悪魔が箱舟を沈めようとしているのが見えます。そしてノアは「イエス様、私を十字架の近くに置いてください」などと歌いました。それは神の指示に従って建てられたので、地獄のすべての悪魔はそれを沈めることができませんでした。裁きと憐れみの間に贖罪がありました。

それは今日のすべての信者です、物事がどれほど激しく揺れ動いたとしても、人生がどれほど困難に見えるかもしれませんが。あなたがキリスト・イエスにいる限り、存在も未来も、死、病気、悲しみは、キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことはできません。アーメン。悪魔は地獄にいるすべての強風をあなたに解き放ちますが、神はあなたの間に贖罪を立てておられます。彼女はすべての波に浮かぶでしょう。彼女はすべてのワニのベッドを通過します。

44 彼はどこに着陸しましたか？ すべてのエジプトの王であるという線でまっすぐに。ハレルヤ！

そして、ある日、ヨルダンを襲撃した後、この古い箱舟が反対側に着陸したとき、私たちは主イエス・キリストの血の贖いの下に立って、司祭と王として神に向かって歩きます。贖罪、憐れみ：誰にでも自由に与えられます。

45 旧約聖書の中で、彼は「今、あなたは箱舟を作ろう」と言いました。そして彼はその木を「アカシアの木」と指定しました。または、この木で作る必要があります。聖書では「シツティムウッド」と呼ばれていますが、実際には「アカシアウッド」と呼ばれています。そして、あなたはそれを同じもの、箱舟にするべきです。そして、「あなたはそれを作り、それを金で覆う」と言いました。

その箱舟を、キリストのタイプを通して見てください。毎回入力していることに注意してください。ノアは一種のキリストであり、道を開いていました。モーセもそうだった。

さて、契約の箱舟を見てください。彼は言った、「あなたはそれをアカシアの木で作り、それを金で覆うでしょう。」聖書を知っている人なら誰でも、金は「神」を、木は「人類」を語っていることを知っています。これらは、「あなたはそれを覆い、木の上に金でかぶせなければならない」と彼は言いました。それは森の上の神です。キリストは教会の内外を問わず、神、重ねられた。

46 「その上にふたがあります。それは憐れみの座となり、すべての法律はそこに残ります。しかし、服用する前に、血をまき散らしてください。」法律は裁きについて語っています。しかし、律法と会衆の間では、神がその場所に立っていたので、それはできませんでした。

キリストのタイプ。神の怒りの間、地獄での裁きの間、それと信者の間には、私たちが罪から救い、病気から癒すために、邪魔をして、贖いをもって立っている神ご自身、キリストが立っています。神は裁きの合間に邪魔をします。

47 法律は裁判官でした。法律は裁きましたが、贖罪は告白された信者と裁きの間にもありました。そこに裁きが箱舟に置かれ、出てくる準備ができていました。しかし、それが起こったとき、それはできませんでした。なぜなら、それと信者との間に贖罪が立っていたからです。そして信者は来てキリストを受け入れ、影とタイプの中で、慈悲の座にまき散らされた血を流しました。それから彼は憐れみを持ち、裁きから解放されたので、喜んで立ち去ることができました。

「それゆえ、今やキリスト・イエスにあつて、肉ではなく霊を追い求める者たちへの非難はありません。」そして、人が世の事柄のために死んで、キリスト・イエスの中で再び立ちあがり、この罪深い世界の道ではなく、聖霊に従って歩んでいることを知っているとき、彼に対する非難はありません。彼は地獄と裁きに直面して見て、喜ぶことができます。なぜなら、彼と裁きの間立って、贖いをするキリストの血があるからです。アーメン。あります。

信者が入ると、ふたが閉まり、それがいつもそれを落ち着かせます。アーメン。金、神、その上と下、そしてその周りに置かれました。神に包まれました。キリストに入って来たすべての人は聖霊に包まれ、神の息子と娘になります。

48 これを金を打ち負かしたことを証明して、彼らはそれを熱くして、それを打ち負かしました。そして、金のビーターは金を打ち負かしました。彼はハンマーでそれを打たなければなりませんでした。そして、彼がその中に彼の反射を見るまで、彼らは金を打ちました。それから彼女を熱くして、箱舟の上に彼女を注ぎ、それは森に浸りました。オーマイ!

力である聖霊、聖霊と火がキリストの血を通して信者に注がれたとき、そこで彼のために贖罪をします。彼はすべての神の裁きから安全です。「それは病気を含みますか?」はい、先生。絶対にあります。

49 それはあなたを押し除けない、あなたをノックしない、あなたに乗らない、これをしないとは言いません。「しかし、多くは義人の苦しみです」(多くの場合、箱舟はこのように、そしてそのように投げられます。),「しかし、主は彼らすべてから彼を救い出されます。」

多くの跳ね返りには古い箱舟がありました。彼女は多くの浮き沈みと多くの強風に乗りましたが、彼女は無事にアララト山に着陸しました。

多くのワニのベッドが小さな箱舟を横切り、多くの強風が夜を駆け抜け、彼女は多くの暗い嵐を乗り越えましたが、内容物を国の王位に運ぶことができるまかり通って無事に着陸しました。最も低いものから最も高いものへ。アーメン。

私たちは惨めで、惨めで、すべての昆虫の中で最も低く、すべての生き物の中で最も低く、道徳的に汚染され、霊的に死んでいる人は、主イエス・キリストの血の箱舟によってその場所から持ち上げられ、息子と娘、そして王となることができます神への司祭。なんとこの絵でしょう。何を検討していますか? 神が人に対してなされたそのような提案を人はどのように断ることができますか?

50 そこで、もう一つ気づいてほしいことがあります。箱舟がその場所に入ったとき、彼は「あなたがその上に置く金の冠」と言いました。言い換えれば、箱舟が何度も投げられたとき、これらすべてで、法則は内側にありました。そして、別のことに注意してください。最初に落ちたパン、コーシャー、またはマナは、マナが鍋の中にあり、箱舟の中に保管されていました。

そして、兄弟よ、もしあなたが神を味わったことがないなら、神が良いことを見るために、一度箱舟に入ってください。マナが置かれている場所があるからです。冷たく肉欲的な信条やその他の何かに出てはいけません。しかし、キリストの内に。ドアに来てください。神はあなたの後ろの扉を閉め、裁きを締め出されます。

51 彼が入って来たのに気づいてください。彼はこの箱舟を取りました…。また、アーロンの棒がそこに入れられ、芽を出しました。死んでいた古い棒:杖、棒、そこからすべての命が失われた木片にすぎません。なるべく乾燥しています。しかし、一度その聖なる場所に置かれると、それは再び生きました。

すべての罪人—私はキリストの前でどれほど鈍く、どれほど黒く、あなたの人生がどんなものであったかは気にしません—あなたは再び生き、花を咲かせ、御霊の実を咲かせます。あなたがどれほど病気が:それは問題ではありません。贖罪の前で、あなたはまだ生きるでしょう。なんて素晴らしいことでしょう。私たちが検討していることは何でしょう。なんとこの聖書でしょう。なんて神だ。なんて完璧なのか...なんて確かな基盤なのでしょう。他のすべての理由は沈んでいる砂です。他のすべての理由は沈んでいる砂です。

52 注意してください、それに冠をかぶせてください。なぜですか? それは王様でした。箱の上に置かれたその金の王冠はどういう意味ですか? それはここに金が置かれていることを意味しました:人類は金で覆われていました。その上に血をまき、その上に冠をかぶせました。

なんて完璧なタイプのキリスト、そして彼の神、彼の愛。彼は世に出て来て、人類、彼の教会、彼の信者の上に身を置いた。その上で、彼は彼自身の血を振りかけ、「誰でも」救うでしょう。そして、二人の天使が金を打ちのめし、彼らの翼が慈悲の席で互いに向かい合って、すべての信者が彼の罪を告白しに来て、彼の罪の和解を受けました。

53 彼はそこにいます。さて、彼を見てください。金の王冠;それはキリストを表していますか? はい。キリストがこの地上にいたとき、彼は血を流すためにとげの冠で戴冠されました。そうです。しかし、その流された血を通して来るすべての信者は、とげの冠を引き出し、賛美と名誉の栄光で彼を冠します。彼の存在に足を踏み入れるすべての信者は、ここで彼の押された眉からの血をとげで受け入れ、王の王として、癒し手として、アルファ、オメガとして、始まりと終わりとして、栄光と賛美と威厳で彼を戴冠させます。カウンセラー、平和の君、強大な神、永遠の父。

54 ノアは箱舟の父でした。モーセは箱舟の父でした。キリストは箱舟の中の父であり、彼の主題、つまりあなた方、教会、信者が安全に守られています。

もう一度気づいてほしいのですが、その箱舟へのアプローチは...その方法でやって来ます...あなたは、すべての人がその箱舟に入って、最初に外庭を通らなければならなかったことに気づきました。次に彼が通り抜けなければならなかったのは、内側のベールで、それから最も神聖な聖地へと入りました。それは、王が戴冠したように、預言者として、司祭として、キリストでした。最初に来るのは、彼がここで最初に何を経験したかについて話しているのが分かります。彼は預言者でした。

55 キリストに来る人は最初に十字架に来なければなりません。十字架は彼の神権でした。十字架は彼が死の中で表されたところにありました。「神はこの世をとっても愛していたので、彼の独り子を与えた」という交差点があります。彼の正しい心には、十字架の前に来て、彼の前に連れて来ることができる人は誰もいませんが、キリストが彼に説教したのを聞くものではありません。キリスト:預言者、説教者。

56 それから、彼が次にすること、彼は贖罪のためにそれを通り抜けます。彼は司祭としてベールを通り抜け、仲裁し、とりなしをし、「とりなしをし、神の右座に立ち、信者のためにとりなしをします」。そして、信者が彼の前に来て、キリストは彼が信じていることを告白すると、彼のためにとりなしをします。

彼が十字架に来るとき、彼は今キリストに近づいています。彼は言いました、「キリストよ、私はあなたが十字架を通して私に説教したことを知っています、あなたの言葉。私はあなたを信じています。私を憐れんでくれませんか?」そして、仲裁者であるキリストが仲裁します。それから彼は箱舟の中に、そこでの裁きに行き、彼の裁きのすべてを負い、すべての罪と恥を取り除き、血のなだめを通して彼を神と和解させ、彼を神と和解させるように戻します、血の流用を通して、彼を神との交わりに戻し、永遠に安全に箱舟に入れます。

57 心配する必要はありません。害を及ぼすことはできません。あなたはできる限り安全です。嵐が来るようにしましょう。...ああ、すべてが起こるようにしましょう、病気を襲わせてください。サタンが送りたいと望むことは何でも起こらせてください。神はそれのあらゆる部分を通してあなたを揺さぶるでしょう。飛び出しに行かないでください。キリストに正しくとどまりなさい。「主なる神よ、この岩の上に」とあなたは言いました、「私は私の教会を建てます、そして地獄の門はそれに打ち勝つことはありません。」主イエスよ、あなたを信じます。私は今、自分の魂を休息の天国に固定しています。」オーマイ!

私たちの救いの主将であるキリスト。そこに彼は立っています、偉大な征服者です。彼はベールを2つに分けて借り、請願の中間の壁をすべて取り除いた。「誰でも」来て彼の人生に参加するように招き、彼の神の祝福で覆われ、裁きがあなたを襲うことはないでしょう。

そして、裁きが下されたとしても、それがあなたを傷つけることはありません。あなたは少しの間病気かもしれないかもしれません。あなたは少しの間何かを経験しなければならないかもしれないかもしれませんが、しかし覚えておいてください、キリストは終わりにあります。彼は決して、「この箱舟は、落ち着きがないような小さな渦の中に座るでしょう...できるだけ落ち着くでしょう」とは決して言いませんでした。いいえ、先生。彼は安らぎの花壇を決して運びませんでした。彼は物事を簡単にすることを決して約束しませんでした、しかし彼はその時にあなたを支えるために恵みを約束しました。

私は詩人が言ったと思います:

私は天国に運ばれなければなりません

安らぎの花壇の上で;

他の人が賞を獲得するために戦っている間

血まみれの海を航海します。

いいえ、私が統治しなければならない場合、私は戦わなければなりません。

主よ、私の勇気を高めてください。

はい、先生。厳しい試練がいつ来るかに気づかないでください。箱舟の中で正しいことを言って、「神様、私は永遠に安全です。荒海を航海しないように、私は自分の魂を休息の天国に固定しました。暴風雨は荒れ狂う嵐の深みを一掃するかもしれませんが、イエスの中で私は永遠に安全です。」

病気が来て、トラブルが来て、落胆したり、心が痛んだりして、すべてが来ます。それは何の関係もありません。私たちは動かさない王国を受け取ります。あなたがジャンプしたり後退したりできるとは言わなかったが、神はあなたがこれらの日のいずれかの時代に彼の王国にいることができるのと同じくらい安全にあなたを上陸させるでしょう。あなたは彼の箱舟にとどまります。

私たちが少し頭を下げている間、主があなたを祝福してくださいますように。

58 私たちの天の父、今日、私たちがそこで彼の威厳を調べるとき、私たちはノアと一緒に彼がそこに戻っているのを見ます。誰がそれらの波を乗り越えていたのですか？ あの小さな古いゴファーの木の箱舟に誰がいましたか？ 今、私たちが持っている最大の戦艦はそれに耐えられませんでした。地球全体が揺れ動き、軌道から何千マイルも離れて、渦のように渦巻いて、波が何マイルも空中を飛び跳ねていました。全世界、覆われています。これらの大きな古い山々は平らな地面から洗い流され、真夜中の暗闇の中でぐるぐる回っています。判断。死体はバタバタと浮かんでいます。

そして、ゴファーウッドを備えた小さな古いボートが、ピッチインとピッチングなしで。そして、あなたの愛する信者たち、それらは箱舟の中に彼らができる限り安全に置かれました。彼らは気にしませんでした。彼らはあなたが言ったことをしたのです。彼らはあなたの指示に従いました。

そして、あなたの指示に従う者は、非難されたり混乱したりすることはありません。ついにあなたは嵐をやめ、人生の嵐は終わり、そして私たちは新しい世界に無事に着陸しました。親愛なる天のお父様、今日、嵐に襲われた生命の海で、医学が素晴らしい時代、教会がそのような素晴らしい大きなものを作っている時代に、私たちはそれがどのように行われるのか理解していません。しかし、私たちはただイエスにとどまりました。嵐が来て、迫害が高まりますが、私たちは指示に従いました。あなたは私たちを見通すでしょう。天のお父様、一人一人にこれらの祝福を与えてください。今朝、私たちの門で見知らぬ人を祝福してください。救われていない者を祝福してください。そうすれば、彼らがあなたの子供になりますように。

59 私たちが頭を下げている間、キリストの外に誰かがここに手を挙げてくれるのではないかと思います。「ブラナム兄弟、私は神に手を挙げています。あなたと彼がそれを見ることができるようです。私は覚えて、手遅れになる前に箱舟に連れて行きたいです。私のために祈ってくださいませんか？」手を挙げて、「覚えておいてください」と言っただけませんか。神はあなたを祝福します、先生。神はあなたを祝福します、先生。神はあなたを祝福します。姉妹、あなたを祝福してください。神はあなたを祝福します、兄弟。「人生の嵐が荒れ狂っているとき、私のそばに立ってください。」

友よ、私はあなたの決断を下すことができません。私はあなたのためだけに祈ることができます。あなたはあなたの決断をしなければなりません。誠実な人が神の威厳の前に来て、神が約束された愛を見ることができるとは思いません。さて、あなたは何のために手を挙げましたか？ 何かあなたの心をノックしています。それは神であり、あなたを箱舟に引き込もうとしています。「私の父が彼を引き寄せない限り、誰も私に来ることはできません。そして、私に来るすべては、私は賢明に追い出されることはありません。私は彼に永遠の命を与え、最後の日に彼を育てます。」

60 怖がらないでください。神が風を駆り立てています。神は箱舟を運転しています。彼はすべてのものを提供しています。なぜ、ノアは勝利を収めなかったでしょうし、嵐や試練もなかったでしょう。安全な小さなトンネルを通り抜けるだけなら、喜びはありません。人生の嵐、私たちに喜びを与えるもの。暗闇がなければ、日光が何であるかはわかりません。山がなければ、丘の頂上が何であるかはわかりません。あなたが病気でない限り、私たちは健康が何であるかを知ることが決してありません。あなたがかつて罪人でない限り、あなたは救いを楽しむ方法を決して知りません。神はすべてのもの、対比の法則を造られました。彼はあなたを愛しています。

さて、頭を下げ、手を上げている間に……

61 父なる神様、今日、ドアがまだ開いているので、人々が東と西、北と南から集まり、大きな兆候が起こっていることを祈ります。空では、恐ろしい光景。空気は分裂しています。水素が燃え尽きています。ソーサーが飛んでいます。理解できないミサイル—ある種の知性、彼らはどこか他の場所から、彼らは知らない、そして科学は見つけることができないと彼らは考えています—電光石火の速さで不思議なことに現場に滑り落ちました。神よ、私たちは終わりに近づいています。

そして、エノクが建てた大きなピラミッド、最後の部屋は通り抜けて、今王の部屋の準備ができています。主が来て、一番上に、キーストーンがあります。天文学のすべてのカレンダーはまっすぐに進んでいます。

す。星はそれを宣言しています。彼らが最初にしたように、賢者が見上げて星を見たとき、彼らは「そこに、偉大な王が来ている」と言いました。今、星は再び指しています。

すべての自然はうめき声です。男性の心は恐れに満ちています。時代の困惑; 国家間の苦痛; 海が轟音を立てる。大きな津波が至る所で砕け、堤防の上下で数百人が死亡しました。高速道路とブロードウェイを通る馬のいない馬車は、稲妻のように走っている松明のように見えます。そして、私たちはこれらのマイルストーンをまるで何もないかのように通過しました。

62 神よ、私たちをすぐに止めてください。福音の説教によって、この罪深い世界を止めなさい。今日手を挙げた人々を救ってください、主イエス様。今日それを認めなさい。あなたが彼らのそれぞれに憐れみの休息を与えてくださいますように。彼らが今いるように....私にできることは何もありません。他に何もできません。彼らの次の動きです。

あなたは聖霊を送りました。彼はみことばを彼らの心に置いた。彼らはそれを信じて手を挙げた。あなたは、「これを信じる者は決して滅びることはないが、永遠の命を持つ」と言われました。主よ、来て、彼らと永遠にそれを解決してください。彼らはあなたを信じています。そして彼らは今あなたの言葉を信じています。あなたが言ったように、「私の言葉を聞いた者は、(説教されて)私を遣わした彼を信じます。(私たちはそうします)」「(彼がしたので)永遠の命があり、決して裁きを受けることはありません。しかし、裁きから命へと渡されます。「箱舟の中で安全に。」

主よ、彼らを新しい男性、新しい女性、新しい男の子と女の子のように立ち上がらせてください。この一握りの人々が集まった今日のこの小さな古い幕屋から出て、新しい生活を送り、福音を宣べ伝え、教え、そして行うために、至る所でキリストを高めます。主よ、それを認めてください。今私たちを祝福してください。私たちはイエスの御名によって祈ります。アーメン。

優しい救い主よ、私を通り過ぎないでください。

ああ、私の謙虚な叫びを聞いてください。

他の人の上にいる間、あなたは呼びかけています、

私を通り過ぎないでください。

救い主、救い主、

私の謙虚な叫びを聞いてください。

他の人の上にいる間、あなたは呼びかけています、

私を通り過ぎないでください。

あなたの王座に私を行かせてください(慈悲の席、見てください)

...慈悲

見つける(ただあなたの魂に神に語らせてください)

...救済(私たちの罪から);

私の傷ついた、壊れた精神を癒し、

私の不信仰を助けてください。

頭を下げましょう。

救い主、救い主、

私の謙虚な叫びを聞いてください。

他の人の上にいる間、あなたは呼びかけています、

私を通り過ぎないでください。

63 頭を垂れて祈りましょう。

ああ、この古い小屋(教会)に来るたびに、どれほど素晴らしい時を過ごしてきたことかと思います。

私はこの場所が、まるで「ピッチで塗られた箱舟」のように、

数多くの嵐を乗り越えてきたことを信じています。

苦しみと試練の日々の中で、私を包み込んでくれた場所です。

あそこにビリーが座っているのが見えます。

でも今、私は聖霊の導きを強く感じています。

何かいつもと違うことをすべきだと、神様がおっしゃっている気がするのです。

ここには、D・クック氏、ロング氏、アーウィン氏、他にも何人か、

名前を書いた紙を持って来られていて、

祈ってもらったり、お話をしたりするつもりでおられます。

さあ、皆さん、今、祈りの中でよく聞いてください。

私は、ビリーに「通路を上がって行って、祈りのカードを配ってくれ」と言おうとしたんです。

けれども、**聖霊がはっきりと言われました——「それはするな」と。**

それが、私が「やさしき救い主よ、われをも過ぎたまうな」と歌った理由です。

私は思ったのです、「主よ、これは一体何なののでしょうか？」

64 これだけは、どうしてもあなたに伝えたいのです。

もし私を信じてくださるなら、よく聞いてください。

今、あなたの心の中にあること——

それが何であれ、知りたいこと、癒されたい病、

今この瞬間に信じてください。

主はあなたに語られます。

そう、今、主があなたに個人的に語られるのです。

私は心からそう信じています。

聖霊が、あなたに必要なことを

ちょうど今、語ってくださいます。

そして、その語りかけに従ってください。

たとえば、あなたが足の不自由な方で、

「立って歩きなさい」と語られたなら、

すぐに立ち上がって歩き出さない。

がんを患っている方で、

「今日からは、そのことを忘れなさい」と語られたなら、

それを信じて忘れてください。

それが実際に起こるかどうか、試してみてください。

きっと起こります。

もしあなたが今、人生の岐路に立っていて、

どちらに進んでいいのかわからないなら、

主はその進むべき道を

あなたの心に示してくださいます。

疑ってはいけません。

ただ信じて、主が言われるとおりに実行してください。

主は必ずなさいます。

65 さて、頭を下げたままの状態でご覧ください。

今から私が名前を呼ぶ方々、どうぞ前の祭壇へ出てきてください。少しの間だけです。

もしこの場にいらっしゃる地元の方々の中で、祈ってほしいと願っておられる方もおられたら、どうぞこの間に前へ進み出てきてください。

皆さんはそのまま頭を下げていてください。

非常に不思議なことが起きました。

ただ今、聖霊によって非常に強く、ある警告を受けました。

私はそれをどう扱えばいいか迷っていたのですが、主ははっきりと語ってくださいました。

私はそれが正しいことを知っています。

今、神の御前で祈りの言葉を求める方――

病気であれ、経済的な問題であれ、身体的・物質的な困難であれ、

あなたの悩みが何であっても――

どうぞこの瞬間に前へ出てきてください。

私たちはもう一度、この賛美歌の一節を歌いながら、

祈りを求める方々を迎えます。

その間、皆さんは頭を下げたまま、心を合わせてください。

ただし、前に来られる方々はそのままお進みください。

そして、お母さん、あの小さな女の子を連れてここへ――

ここ、祭壇の前へ来ててください。

では、賛美をもう一度――

♪ 救い主よ、救い主よ、

へりくだる我が祈りを聞いてください。

ほかの者を顧みられる時、

どうか私をも見捨てないでください。

憐れみの御座にて

安らぎを見い出させてください。

傷つき、砕けた霊を癒し、

私の不信を助けてください。

救い主よ……

66 親愛なる皆さん、どうか頭を下げたままお聞きください。

私はこれまでの人生で、偽りの者になることだけは避けようと努めてきました。

神に対しても、人に対しても、誠実であろうと心がけてきました。

そして、いつでも、聖霊が私に語りかけてくださる通りに動き、行動してきたつもりです。

それが、私が様々な場所へ導かれたり、ある集会を突然やめたり、別の場所へ行く理由なのです。

私は、聖霊の導きに従っているのです。

今朝、この場所で説教している間にも——

本当は、祈りの列を設けるつもりでした。

人々を前に呼び出して、識別の賜物をもって語り、祈るはずでした。

しかし、「何か」が私に語りかけてきたのです。

それは、「人々にこう伝えなさい——

『もしあなたが何かに欠けているなら、わたしに尋ねなさい。わたしが語ろう』と。

そのとき、私は突然説教を止めました。

その瞬間、確かにそれが起こったのです。

だから、私は皆さんをここへ呼びました——

「来て、わたしに尋ねなさい」と主は言われたのです。

67 あなたは思っているでしょう。

「あの小さな女の子がどうやって癒されるのか？」

「がんを患っている私は、どうやって癒されるのか？」

「こちらの喉の病気を抱えた方は、どうやって癒されるのか？」

「杖をついているあなたが、どうやって癒されるのか？」

「松葉杖のあなたが、どうやって癒されるのか？」

「盲目の方が、どうやって見えるようになるのか？」

「悩みや問題を抱えているあなたが、どうすればよいのか？」

家庭内の問題や家族の問題を抱えている方もいますね。

「ブラナム兄弟、どうすれば乗り越えられるのでしょうか？」

主は今、あなたに語ってくださるでしょう。

他にもさまざまな悩み——あれこれと心に浮かんでいることでしょう。

けれど、今、あなたの心に何かが触れてきたなら、
それを信じて、従ってみてください。それが正しいかどうかを確かめてみてください。
考えを変えないでください。そのままいてください。
主は「語る」と約束されたのです。

では、皆さん、祈りの中でお過ごしください——

68 【ブラナム兄弟、説教壇のマイクを離れ、祭壇にいる人々のために祈り始める】

天の父よ、私の兄弟を祝福してください。
彼の心のすべての願いをお与えください。
彼が願っていることは何であれ、どうか叶えてください。
私の姉妹を、愛する神よ、祝福してください。
今日、彼女の心の重荷を取り除いてください。
父よ、私の姉妹を祝福してください。
御霊が彼女の上に注がれますように。
神よ、私の姉妹を祝福してください。
彼女の心の深い願いをお与えください。
同じように、ここにいるこの姉妹にも——
父よ、イエスの御名によって、それがかなえられますように。
この愛らしい小さな女の子を見てください。
あなたが私たちのためにしてくださったすべてのことに、私たちはとても感謝しています。
父よ、少し前にあなたは私たちを助けてくださいました。
どうかこの子を完全に癒してください。
そして、彼女が他の人々への啓示(あかし)となり、彼らもあなたを信じることができるようにしてください。
い。

私はこの子を今朝、イエス・キリストの御名によって祝福します。

そして、彼女の身体にある病を、主よ、打ち砕きます。

私の愛する兄弟を今日祝福してください、主よ。

彼の信仰が決して揺らぐことのないようにしてください。

彼がカルバリー(十字架の地)を見上げるとき、その中に信仰を置くならば、

神はそれを確認し、それを実現してくださることを知っているのですから。

69 モーガン兄弟を祝福してください。

彼の心の願いをお与えください。

彼が今日願うことは何であれ、主の御名によって、あなたがそれをかなえてくださいますように。

後ろの姉妹を祝福してください、主よ。

彼女の願いを、イエス・キリストによってかなえてください。

父なる神よ、私の兄弟のために祈ります。

彼の心の願いが成就されますように——[聞き取り不明部分：願いにかなう形で]。

こちらの兄弟も、主よ、どうか祝福してください。

天の父よ、彼の心の願いをお与えください。

その願いがイエス・キリストの中に見いだされ、彼の身体の癒しのゆえにあなたに感謝できますように。

父なる神よ、私はこの兄弟の上に手を置き、イエスの御名において、その心の願いが与えられるように祈ります。

小さな兄弟を祝福してください、父よ。

この少年に平安を与えてください——[聞き取り不明部分]——イエスの御名によって。

この小さな女の子を祝福してください、父よ。

私は彼女を祝福します。

主イエスの御名によって、彼女が願っているものを得られますように。

イエスの御名によって、かなえてください。

姉妹を祝福してください、主よ。

イエスの御名において、そうなりますように。

[聞き取り不明部分]。

(※この後、ブラナム兄弟はマイクから離れて、プレイヤーラインに並んだ数人に対して個人的に祈りを捧げました)

70 全能の神よ、

あなたこそが天と地の支配者であり、人の心を秩序立てられるお方です。

あなたは星々を天に置かれ、それらは今もとどまり、

太陽を軌道に掛けられ、それはそこに留まり続け、

月を空に掲げ、海を見張らせ、

その境界を定められ、それを越えることはありません。

あなたが語られると、被造物は皆、従いました。

主なる神よ、どうか人の心にも語ってください。

いつも御霊に対して柔らかく、吸い込むように従順であり、

あなたが命じられたことを行う心でありますように。

天の父よ、

あなたは今朝、この取るに足らないしもべの心に語りかけてくださいました。

そして私は民に向かって語りました——「主が語りたいと願っておられる」と。

実際に、あなたは一人ひとりに語ってくださいました。

そして今、父よ、

私はあなたの啓示を記念して、彼らの上に手を置きました。

父よ、その時あなたが彼らの心に置かれたこと——

どうかそれが永遠の決断となりますように。

主よ、あなたの御霊が今ここにいて、

正確に彼らの心に印を与えてくださっていると信じます。

もし彼らが足の不自由な者なら、歩けるように。

もし目が見えないなら、見えるように。

もし心が沈んでいるなら、喜びが与えられますように。

もし悩みがあるなら、それが取り除かれますように。

主よ、どうか成し遂げてください。

もし決断をしようとしている者がいるなら、

どうか今、正しい決断がくだされますように。

聖霊よ、私たちに必要なすべてのことを明らかにしてください。

どうか主よ、それをお与えください。

私たちはこの祭壇におり、

あなたを待ち望み、あなたを礼拝しております。

アーメン。

71 天の父よ、

もしまだ語りかけを受けていない人がここにいるなら、どうか今、あなたの御霊が力強く降りてきてくださり、この祭壇のまわりを上へ下へと動き、すべてを明らかにしてください。

すべての心が確信を持てるようにしてください、主よ。どんな疑いも残らぬように、どこにも曇りがないように、あなたの御霊があらゆる摩擦を取り去ってくださいますように。

そして会衆席の中におられる、あなたに祝福されている親愛なる方々、今は苦しみの中にない方々——今朝こうして健康と力を与えられて座っておられる方々も——彼らもまた、主よ、祈っています。ここに立っている兄弟姉妹たちのために、心を合わせてとりなしておられます。

彼らもかつては同じような試練を通りました。主よ、あなたが助けてくださったことを彼らは知っています。

今、父よ、私たちは一つ心で祈ります。

どうか、あなたの御霊を送ってください。すべてを確かなものとし、主よ、今ここで、すべての心に確認を与えてください。

私たちは、へりくだって待ち望みます——あなたの偉大なる聖霊の油注ぎと、動きと、そして、私たちが確かに「これこそ主のみこころだ」と感じるその業が、ここでなされますように。

どうか、主よ、成し遂げてください。

アーメン。

72 今、私たちの頭を垂れ、すべての人が祈りのうちにある中、これから賛美をささげましょう。どうか疲れ

ず、心を集中させてください。

私は熱狂的な者ではありません。皆さんもそれはご存知でしょう。もし私がそうであるなら、自分では気づいていません。しかし、何か^が確かに私に語りかけました。「彼ら^を呼び出しなさい。わたしが彼らに語る」と。

私はそのとおりにしました。ただ主が言われたことを行っただけです。

今、頭を垂れ、祈りの中で賛美をささげながら、主があなたに何を語られるかを聞いてください。

主があなたに語ることを、それこそが主ご自身の声です。

♪ 歩もう 光の中を、美しいその光の中を

恵みの露が輝くところへ

昼も夜もわたしたちを照らす

イエスこそ、世の光 ♪

We'll walk in the light, beautiful light,

Come where the dewdrops of mercy are bright;

Shine all around us by day and by night,

Jesus, the light of the world.

繰り返しましょう：

♪ 歩もう 光の中を、美しいその光の中を

恵みの露が輝くところへ

昼も夜もわたしたちを照らす

イエスこそ、世の光 ♪

(もう一度)

♪ 歩もう光の中を——どんな光？

主が今くださっているその光——

恵みの露が輝くところへ

昼も夜も照らされる

イエスこそ、世の光 ♪

♪ 来たりて、主を王として認めよ

イエスこそ、世の光

そのとき、天の鐘が鳴り響く

イエスこそ、世の光 ♪

♪ 歩もう 光の中を、美しいその光の中を

恵みの露が輝くところへ

昼も夜もわたしたちを照らす

イエスこそ、世の光 ♪



www.messagehub.info

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおりに、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7